

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日  
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】<http://japan.renesas.com/inquiry>

2002年11月29日

## 日立半導体技術情報

〒100-0004  
東京都千代田区大手町2丁目6番2号  
(日本ビル)

TEL (03)5201-5235 (ダイヤルイン)  
株式会社 日立製作所 半導体グループ  
汎用・コンシューマーマーケティング部

製品分類	マイコン	発行番号	TN-H8*-241A	Rev.	第1版
題名	H8S/2218、H8S/2212シリーズ ハードウェアマニュアルの誤記訂正	情報分類	1. 仕様変更 ②. ドキュメント訂正追加等 3. 使用上の注意事項 4. マスク変更 5. ライン変更		
適用製品	H8S/2218、H8S/2212 シリーズ	対象ロット等 全ロット	関連資料	H8S/2218、H8S/2212シリーズ ハードウェアマニュアル ADJ-602-338(H) 第1版	有効期限 永年

日立シングルチップマイクロコンピュータH8S/2218、H8S/2212シリーズハードウェアマニュアルにおきまして、  
誤記がありましたので訂正させて頂きます。

### - 記 -

1. RTCコントロールレジスタ1(RTCCR1)のビット7(RUN)

#### 【修正前】

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
7	RUN	-	R/W	RTC動作開始 0 : RTCは動作停止 1 : RTCは動作開始

#### 【修正後】

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
7	RUN	-	R/W	RTC動作開始 0 : RTCまたはフリーランカウンタは動作停止 1 : RTCまたはフリーランカウンタは動作開始

2. シリアル拡張モードレジスタ A\_0(SEMRA\_0)のビット 6 ~ 4 (STC2 ~ 0)

【修正前】

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
7	SSE	0	R/W	SCI_0 セレクトイネーブル (本文省略)
6	TCS2	0	R/W	TPU クロックセレクト
5	TCS1	0	R/W	(本文省略)
4	TCS0	0	R/W	<u>0**</u> リザーブ(設定禁止)
3	ABCS	0	R/W	調歩同期基本クロックセレクト (本文省略)

【修正後】

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
7	SSE	0	R/W	SCI_0 セレクトイネーブル (本文省略)
6	TCS2	0	R/W	TPU クロックセレクト *
5	TCS1	0	R/W	(本文省略)
4	TCS0	0	R/W	<u>1**</u> リザーブ(設定禁止)
3	ABCS	0	R/W	調歩同期基本クロックセレクト (本文省略)

【注】\* ビット 6~4 の TPU クロックセレクト機能は E6000 エミュレータではサポートしていません。

3. シリアル拡張モードレジスタ A\_0(SEMRA\_0) のビット 2 ~ 0 (ACS2 ~ 0) と

シリアル拡張モードレジスタ B\_0(SEMRB\_0) のビット 7 (ACS3)

【修正後】

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
2	ACS2	0	R/W	調歩同期クロックソースセレクト (本文省略)
1	ACS1	0	R/W	
0	ACS0	0	R/W	1 0 0 0 : = 24MHz 専用の平均転送レート 115.132kbps を選択 * (転送レートの 16 倍の周波数の基本クロックで動作) 1 0 0 1 : = 24MHz 専用の平均転送レート 460.526kbps を選択 * (転送レートの 16 倍の周波数の基本クロックで動作) 1 0 1 0 : = 24MHz 専用の平均転送レート 720kbps を選択 * (転送レートの 8 倍の周波数の基本クロックで動作) 1 0 1 1 : = 24MHz 専用の平均転送レート 921.053kbps を選択 * (転送レートの 8 倍の周波数の基本クロックで動作) 1 1 ** : リザーブ(設定禁止)

【注】\* 24MHz 専用の平均転送レート選択機能(ACS3 ~ 0 = 10xx)は E6000 エミュレータではサポートしていません。

#### 4. シリアル拡張モードレジスタ B\_0(SEMRB\_0)のビット 6 ~ 0

##### 【修正前】

SEMRB\_0 は、SEMRA\_0 との組合せによりクロックソースの選択、転送レートの自動設定ができます。

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
7	ACS3	0	R/W	調歩同期クロックソースセレクト (本文省略)
6~0	-	すべて 不定	-	リザーブビット ライトするときは0をライトしてください。

##### 【修正後】

SEMRB\_0 は、SEMRA\_0 との組合せによるクロックソースの選択、転送レートの自動設定、および TPU による転送クロック生成時におけるポート 1 端子(P16,P14,P12,P10)の制御ができます。

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
7	ACS3	0	R/W	調歩同期クロックソースセレクト (本文省略)
6~4	-	すべて 不定	-	リザーブビット ライトするときは0をライトしてください。
3	TIOCA2E	1	R/W	TIOCA2 出力イネーブル * P16 端子に出力する TIOCA2 の出力を制御します。 TPU の TIOCA2 出力を転送クロック生成のみに使用する場合、本ビットを0に設定することにより、P16 端子を他の用途に使用できます。 0 : TPU の TIOCA2 出力を禁止 1 : TPU の TIOCA2 出力を許可
2	TIOCA1E	1	R/W	TIOCA1 出力イネーブル * P14 端子に出力する TIOCA1 の出力を制御します。 TPU の TIOCA1 出力を転送クロック生成のみに使用する場合、本ビットを0に設定することにより、P14 端子を他の用途に使用できます。 0 : TPU の TIOCA1 出力を禁止 1 : TPU の TIOCA1 出力を許可
1	TIOCCOE	1	R/W	TIOCCO 出力イネーブル * P12 端子に出力する TIOCCO の出力を制御します。 TPU の TIOCCO 出力を転送クロック生成のみに使用する場合、本ビットを0に設定することにより、P12 端子を他の用途に使用できます。 0 : TPU の TIOCCO 出力を禁止 1 : TPU の TIOCCO 出力を許可
0	TIOCAOE	1	R/W	TIOCA0 出力イネーブル * P10 端子に出力する TIOCA0 の出力を制御します。 TPU の TIOCA0 出力を転送クロック生成のみに使用する場合、本ビットを0に設定することにより、P10 端子を他の用途に使用できます。 0 : TPU の TIOCA0 出力を禁止 1 : TPU の TIOCA0 出力を許可

【注】\* ビット 3~0 の機能は E6000 エミュレータではサポートしていません。

## 5 . USB コントロールレジスタ(UCTRLR)のビット 7、6

### 【修正前】

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
7	-	0	R	リザーブビット 必ず0をライトしてください。
6	<u>USPNDE</u>	0	R/W	<u>USPND</u> 端子イネーブルビット 0 : USPND/TMOW 端子は、RTC の TMOW 出力 1 : USPND/TMOW 端子は、USB の USPND 出力

### 【修正後】

ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
7	-	0	R/W	リザーブビット 必ず0をライトしてください。
6	<u>TMOWE</u>	0	R/W	<u>TMOW</u> 端子イネーブルビット 0 : USPND/TMOW 端子は、USB の USPND 出力 1 : USPND/TMOW 端子は、RTC の TMOW 出力